

株式会社SCREENグラフィックソリューションズ からのお知らせ

2024年5月23日

「Truepress LABEL 350UV SAI S」向けに 密着性や印刷品質を向上させる 「デジタルプライマーオプション」を発売

株式会社SCREENグラフィックソリューションズはこのほど、ラベル・シール印刷用UVインクジェットラベルプリンティングシステム「Truepress LABEL 350UV SAI S」向けに、密着性や粒状性など印刷品質を向上させる「デジタルプライマーオプション」を開発。2024年10月からの全世界に向けた販売を予定しています。

概要

ラベルを含めたパッケージ業界では、地域ごと、ジョブごとに、多様な種類の基材が使われており、近年では環境問題に対応するため、その種類は増える一方です。UVインクジェット印刷は、他のデジタル印刷方式と比較して、基材適性に加え耐久性にも優れているため、それらの長所を基に普及率を伸ばしてきました。なお、デジタル印刷は、さまざまな種類のインクを利用できるアナログ印刷と比較した場合、一部の特殊な基材や指定基材、特定の地域基材などにおいて、十分な結果が得られないことがあります。また、複数の種類のインクを使用することが困難であり、インクと基材によって濡れ性が異なるため、品質や密着性、耐久性などの面で差異が生じることがあります。

業界におけるこのような実情を背景に当社は、「Truepress LABEL 350UV SAI S」向けに、UVインクジェット印刷における密着性・粒状性などの品質を改善する「デジタルプライマーオプション」を開発しました。当オプションは、「Truepress LABEL 350UV SAI S」の装置内にあるエクストラヘッドスペースを活用することで、新たなスペースの確保やメインUVランプ*の追加なしでインラインインクジェットプライマーの設置を実現。入校データを基にプライマー版を自動生成するなど、追加作業を発生させることなく利用できるため、デジタル印刷の利点の一つである“スキルレス”を、最大限に維持できます。また、プライマーで使用するインクは透明色に近いため、ニスのように利用することで加飾性を高め、付加価値を追加する手法として活用することも可能です。このように、インラインプライマーインクを使用することで、より一層、デジタル印刷における基材対応やアプリケーションの幅を拡大。デジタル印刷の工程を増やし、付加価値を高めることで、さらなるコストメリットを生み出すとともに、廃棄物や消費電力の削減など、環境対応にも寄与します。

当社は、これまで培ってきた高速かつ高品質なインクジェット印刷技術と高性能インクの開発、生産ライン自動化の推進、お客さまの課題解決を実現するソリューションなどを組み合わせることにより、新たな印刷マーケットを切り開いていくとともに、印刷業界のさらなる発展に貢献していきます。



Truepress LABEL 350UV SAI S

※ 仮硬化用のUV-LEDランプは必要です。

* TRUEPRESS、Truepress LABEL、Truepress inkは日本またはその他の国における(株)SCREENホールディングスの商標または登録商標です。

● 本件についてのお問い合わせ先

株式会社SCREENグラフィックソリューションズ
ビジネス統轄部 販売推進部
URL www.screen.co.jp/ga/
Tel 075-414-7709